

文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



かもめ食堂
(映画、DVD)
バップ

高い青空と、ゆったり歩く人々。そんなフィンランド・ヘルシンキの街角にある、小さくても堂々としたたざまいの店「かもめ食堂」。優しいけれど、きりっとした潔さを持った日本人店主サチエは、図書館で知り合ったミドリをスタッフに迎える。普通だけど何だかおかしい人々が繰り出す、妙に懐かしく心地よい物語(102分)。



きむらゆういちのエコ工作
(児童書)
著：きむらゆういち 刊：ポプラ社

牛乳パック、トイレトペーパーの芯、輪ゴムや封筒など、身近にあるもので作る楽しいおもちゃの工作絵本。豊富なイラストや写真で、エコにもなる作品の作り方、遊び方がよくわかります。もうすぐ楽しい夏休みがやってきますね。自由研究にもお勧めです。



極北クレイマー(一般書)
著：海堂尊
刊：朝日新聞社

財政破綻にあえぐ極北市。赤字5つ星の極北市民病院に、非常勤外科医の今中がやってきた。院長と事務長の対立、不衛生でカルテ管理もずさん、謎めいた医療事故、女性ジャーナリストの野心、病院閉鎖の危機…。果たして今中は桃色眼鏡の派遣女医、姫宮と手を組んで医療崩壊の現場を再生できるのか!?

だいせつざんのすがお

大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人たちをリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えます。

自然体験、アウトドア体験という言葉が最近よく耳にするようになりました。でも自然体験、アウトドア体験って？

登山、キャンプ、カヌーなどなど、普段の生活とは違った非日常の世界。これが自然体験やアウトドア体験という言葉から受けるイメージじゃないかと思えます。

でも考えてみると、自然の中の遊びは、当然すべて自然体験！ 森や裏山を探検したり、水辺でカエルをつかまえて遊んでみたり、と子供のころに日常的に遊んでいたことも、大きくまとめれば自然体験ではないかなぁ、と思えます。

さて、私たちはキトウシ森林公園や旭岳野営場などを借りて、子供キャンプや日帰りの子供の自然体験活動などを行っています。子供たちと一緒に活動すると「自然の中で遊ぶ楽しさ」というものを再確認します。

自然遊びは、子供のころの目線を思い出せることに加えて、いろんな発見があるのです。

例えば、自然というのがみんなに平等な場であり、どんな人にもその人の好みにあった遊びを与えてくれる場所である

こと。

今の時期は、葉っぱで生い茂った樹冠に太陽の光が遮られ、森の中に入るとひんやりと涼しく散歩道が広がっています。

そんな森には、みずみずしく茂った緑の葉もあれば、わずかな光を吸収して咲かせるきれいな花、変てこな形の虫や変な声で鳴く鳥など、いろいろな生き物がたくさんいます。

子供たちにとってみればまさに森の中はワンダーランド！ 不思議なものがたくさん隠されている森の中では、探すもの、見つけるものすべてが宝物みたいなものです。

花が好きな子には花を、虫が好きな子には虫探しをさせてあげる、というのが自然という遊び場です。それはどんな人にも平等に場所を与えてくれるのではないかと思います。

自然の中に子供を連れていくと、不思議なもの、気になったものを自分たちで発見し、どんどん学んでいきます。

教わったことを学ぶより、自主的に考えて自分たちで発見し、いろいろな想像力(創造力)を働かせて、係わった人を成長させる。う～ん、すごく偉大な先生ですね。でもそれが自然というものであり、自然体験の醍醐味じゃないかと思えます。



◀キトウシ森林公園で

文：大雪山自然学校 沢辺 佳彦